

ここが聞きたい！

# 代表質問

## 代表質問とは…

市の様々な課題等について、議員が会派を代表し、市長や理事者に対して考えを聞くものです。毎年12月定例会にて、3名以上の議員が所属する会派が質問します。



ふくはら としひろ  
福原 敏弘〔さばえ結の会〕



## 令和6年度当初予算編成について

**問** 令和6年度当初予算編成の基本方針は。

**答** 市長 本市が目指す将来像の実現に向けて、『つくる、そだてる、さばえる』をスローガンに、「市民主役で日本一活気あるまち」と「ワクワク子育て日本一のまち」の2つを軸に進めていく。そのため、市民主役の場づくり、子育て世帯・若者支援、人口減少対策、物価高騰対策、脱炭素・環境負荷低減、DXの活用、産業支援、地域ブランド力の向上、新幹線開業・冠山峠道路開通・万博開催を見据えた取組といった、9項目に重点的に予算配分する編成方針とした。

## 鯖江駅東口整備について

**問** 鯖江駅東口整備の今後の方針は。

**答** 市長 事業手法の見直しや必要性などを再検討し、北陸新幹線金沢・敦賀間開業後の2年間をかけて、利用状況等の実態調査や利用者等の意見収集を行い、基本計画

の再検討については、3年後をめどに着手していきたい。ハピラインへの移行後は、駅前ビルや中心市街地の空き店舗対策、駅周辺のにぎわいづくり、現駅舎のコンビニ跡地の利活用など、人が集まる場所づくりにつながる取組については、できるだけ早く着手していきたい。

## 経済回復への今後の取組について

**問** ものづくり産業の現状と今後の発展に向けた取組は。

**答** 市長 企業訪問を行った事業所の約半分が後継者不在としており、人材定着・確保のために、働きやすい職場環境整備への支援や、先端設備導入の補助金制度の創設などを行っている。また、消費者ニーズ等の時流を捉えた企業活動を推進するため、越前市と合同で越前鯖江デザイン経営スクールの開講やビジネスプレゼン塾など、様々なビジネススキルを学べる場を提供している。これらの事業を活用し、今後の企業経営の課題解決につなげていきたい。

### 【そのほかの質問】

- ・スマート農業への支援
- ・いじめ問題への対応
- ・高齢化社会への福祉の充実
- ・除雪に関する県との連携



かえりやま あきお  
帰山 明朗〔新清風会〕



## 鯖江市の財政状況について

**問** 市の財政状況について、未来に負担を残さぬよう、財政健全化にしっかり取り組むべきではないか。

**答** 市長 本市の財政状況は、健全化判断比率などの財政指標は良好だが、中長期で捉えると今後の財政需要が増加傾向にある一方で、人口減少や高齢化により、歳入の大きな伸びは期待できないため、確実に悪化するものとする。特に、公共施設の長寿命化だけでも数億円から数十億円規模の事業が今後15年以上続くなど、極めて大きな財政需要が控えているため、市債残高が確実に上昇していくと考える。市としては、急激な市債残高の増加等による財政悪化を抑制するため、今後の財政需要への備えとして、基金残高を可能な限り確保していくことや、今後の大型事業の年度間のバランスを調整していくことを基本と考えている。その上で、どうしても起きる財政需要の年度間の差異は、基金の取崩しを行いながら財政負担を平準化するとともに、可能な限り交付税措置のある優良債を活用するなどの工夫をし、財政健全化を図ってきたい。

## 魅力ある産業の創出・事業継承・人手不足への対応・支援策について

**問** 物価高騰などにより、厳しい状況にある市内事業所の支援のため、補助金制度の拡充を行うべきではないか。

**答** 様々な補助制度を設けているが、社会経済情勢の変化に応じ、随時見直しや適正化を図る必要がある。企業や業界、産業界との意見交換の際に要望を多々いただいております。9月補正では、エネルギー価格高騰に伴い、大きな影響を受ける事業者の時期を逃さず対応するため、「鯖江市ものづくり企業等エネルギー価格高騰対策給付金」、省エネルギーや高効率化につながる設備等を導入する製造業者を対象とした「エネルギーコスト削減対策補助金」を制度化した。今後の補助金制度の拡充については、事業者の声をしっかり聞き、検討し取り組みたい。

### 【そのほかの質問】

- ・佐々木市長の3年間を振り返っての所感等
- ・北陸新幹線敦賀開業後のまちづくりについて
- ・市民主役のまちづくりについて